

■メキシコ：シェールガスによる発電量が拡大する見通し

メディアは2012年1月17日、豊富なシェールガスによるガス価格低下によってガス火力の発電量が伸びるとするエネルギー規制委員会（CRE）委員長の談話を報道した。また、エネルギー相は昨年、発電事のシェールガスを開発していくと発表するとともに、今後のガスが果たす役割を重視したうえで、同国の電力に関する長期計画を更新するとしている。同国では、シェールガス開発に対応するため、連邦電力公社（CFE）が中心となり、主要ガスパイプライン8本が建設される予定になっている。それに加えて、エネルギー相は今後、電力が必要な地域に火力発電所を建てたいとしている。IEAの調査によると、メキシコの採掘可能なシェールガス埋蔵量は681兆立方フィートで、南米で第2位である（第1位は774兆立方フィートの埋蔵量を有するアルゼンチン）。